

海洋都市を目指す横浜で、日本初開催の国際会議 エムシーズ 「MSEAS2024」を開催します！

横浜市では、産官学による「海洋都市横浜うみ協議会」を設立し、海洋に関する活動の拠点「海洋都市横浜」の実現を目指して取組を進めています。

このたび、うみ協議会員の(国研)水産研究・教育機構に協力し、国際的な海洋社会生態学シンポジウム(MSEAS^{※1})が横浜で開催されることになりました。歓迎レセプションでは、学生と連携したMICE^{※2}に関する課題解決プログラム「YOKOHAMA MICE Challenge」^{※3}をスタートします。

今後も、海洋分野でのMICEの積極的な誘致に取り組み、産業の振興につなげていきます。

1 開催期間

6月4日(火)～6月7日(金) (歓迎レセプションを6月3日(月)に大さん橋ホールで実施します。)

2 会場

パシフィコ横浜ノース ほか

3 開催規模

欧米、アジア、豪州、アフリカなど世界各国から約300名が出席

4 シンポジウム概要

「地球の海と沿岸システムの持続的な利用のために」をテーマに掲げた、SDGsの目標を達成するためのシンポジウム

5 主催・運営体制

主催:北太平洋海洋科学機関(PICES)

後援:水産庁、(国研)水産研究・教育機構、東京大学大気海洋研究所ほか

運営:MSEAS2024 横浜大会実行委員会(現地委員会)

※1 MSEAS(エムシーズ):Marine Socio-Ecological Systemsの略

※2 MICE:企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)などの総称

※3 YOKOHAMA MICE Challenge:国際会議で学生が横浜の魅力PR等を行う企画プログラム

■現地取材をご希望の場合のみ、歓迎レセプション及びMSEASへの当日参加が可能です。事前登録が必要なため、5月29日(水)17:00までに、政策経営局経営戦略課担当課長(下記のお問合せ先)へご連絡ください。

お問合せ先

[海洋都市を目指した横浜の取組に関すること]

政策経営局経営戦略課 担当課長 中村 大和 Tel 045-671-3124

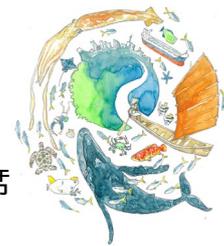
[MICE誘致、YOKOHAMA MICE Challengeに関すること]

にぎわいスポーツ文化局MICE振興課 誘致等担当課長 中嶋 浩章 Tel 045-671-4262

[MSEASに関すること]

(国研)水産研究・教育機構経営企画部広報課長 荒井 大介 Tel 045-277-0136

裏面あり



[開催HP](#)

【参考1】海洋都市横浜うみ協議会について

■設立日：平成27年9月28日

■名誉会長：山中 竹春 横浜市長

会長：伊地知 英弘 横浜市副市長

■協議会参加企業・団体の皆様と議論しながら、産官学連携により、次の取組を進めています。

(1)海洋に関する活動の総合的な情報発信

(2)市民の海に関する理解・関心の向上

(3)海洋環境の保全

(4)海洋産業の振興

(5)脱炭素社会の実現

■協議会参加企業・団体(順不同):【29 団体】

(国研)海洋研究開発機構、(国研)水産研究・教育機構、(国研)海上・港湾・航空技術研究所、

(独)海技教育機構、横浜国立大学、東京海洋大学、横浜市立大学、神奈川大学、

東京大学生産技術研究所、(一財)エンジニアリング協会、(一社)海洋産業研究・振興協会、

(一社)日本船用工業会、(一社)日本プロジェクト産業協議会、(一社)次世代センサ協議会、

(一社)横浜港振興協会、(株)、東亜建設工業(株)、横浜港埠頭(株)、(株)横浜八景島、日本郵船(株)、

三菱重工業(株)、ジャパン マリンユナイテッド(株)、五洋建設(株)、(株)シーバルーン、

(一社)日本水中ドローン協会、アクトインディ(株)、内閣府総合海洋政策推進事務局、

関東地方整備局(国土交通省)、関東運輸局(国土交通省)、横浜市

【参考2】MSEAS について

海洋の持続可能な利用のためには、社会、経済、環境の分野からの統合的なアプローチにより、ブルーエコノミーの発展と、それに伴う沿岸地域の住民生活の向上を実現することが必要です。

MSEAS とは、Marine Socio-Ecological Systems(海洋社会生態システム)の略で、自然科学と社会科学の視点を統合して人間による自然利用の持続可能性を議論することを目的に、2016年にフランス国プレスト市にて第1回国際シンポジウムが開催されました。

このたび、2024年に横浜市において第2回の国際シンポジウムを開催し、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の14「海の豊かさを守ろう」の14「海の豊かさを守ろう」や、その科学的基盤整備を進める「国連海洋科学の10年(UNDOS)」に貢献する議論を行うものです。

【参考3】YOKOHAMA MICE Challenge について

横浜市では次世代育成の取組及びMICE(※)産業活性化の視点から、学生と連携したMICEに関する課題解決プログラム「YOKOHAMA MICE Challenge」をスタートさせます。本企画は、市内の学生による提案や実践をもとに横浜市におけるMICEの課題を解決していく、共創型のプログラムです。

令和6年度は試行的に横浜市立大学 有馬研究室と連携して事業を実施するため、大学のインターン実習の一環として参加する学生については、大学の授業の単位が与えられます。

この度、プログラムにおける第1回の実践の場として、MSEAS 国際会議における観光案内や横浜の魅力PRを行います。なお、第2回の実践の場としては、8月に行われる生物多様性国際ユース会議において、エクスカーションの企画・運営を行う予定です。

※ 詳細については、本日同時発表を行ったにぎわいスポーツ文化局の記者発表資料「MICE 人材育成に向けて、学生による国際会議の企画プログラムがスタートします！」をご覧ください。